

EL COMPAS えるこんぱす

No.
56
2022.4.1

Contents

▶ 巻頭言	p1	▶ 連載シリーズ① 図書館からのお勧め本	p8
▶ 図書館運営委員からのメッセージ	p2-4	▶ 連載シリーズ② 「図書館探検隊」!	p9
▶ 学生選書ツアー報告	p5-7	▶ 図書館活用法	p10-12

巻頭言

大学付属図書館の役割の多様化 —DXに関わる取り組み—

付属図書館長 教育・心理学部教員 亀谷 和史

大学付属図書館の役割が多様化している。これまで図書館といえば、本を借りたり、資料、辞典・辞書、新聞・雑誌等を閲覧室や自習室で読んだり、調べたりするところ、あるいはDVD等の視聴教材を見たりもできる公共の施設というイメージであった。もちろん、今もその機能を担ってはいるが、21世紀の高度情報化社会の進展、ICT（情報伝達技術）の飛躍的発展で、これまで以上に、その役割が大きく変容・進化している。そして研究・教育の在り方自体にも大変革を促している。それは言うまでもなく、デジタル化社会への対応である。

今、盛んにDXという用語が盛んに使われている。これは、「デジタル・トランスフォーメーション」の略語で、Tを使わずあえてXという記号が使われているのは「トランスー」という接尾語の「横切って・超えて」の「交差する」という含意からそのように表記される。すでに2004年、スウェーデンのウメオ大学のエリック・ストルターマン教授によって提唱された概念で、「進化したデジタル技術を浸透・普及させることで人々の生活をより良いものへと変革すること」であると言われている。本学の付属図書館でも、このDXに応じて、さまざまな課題に取り組み・改善をおこなっている。今やタブレット・ノートPC一台あれば、本学図書館のHPにアクセスでき、そこから日本のみならず、世界の様々な研究・教育・学習サイトに接続し、利用することができる。

実は、近年、図書館の来館数がやや減少している。これ自体は、コロナ禍の影響等、さまざまな要因があり、「新しい生活様式」の一環ともいえよう。しかし、今の時代、わざわざ付属図書館に行かなくても、自宅や教室からこれまで以上に、より良く効率的に利用できるのである。検索の仕方や図書館を利用すること自体も、オンラインで相談できるように準備しているところである。

在学中にぜひ大学図書館の多様な最新の機能を体験・習得していただきたい。

図書館運営委員からのメッセージ

人間は利己的な存在か、利他的な存在か？

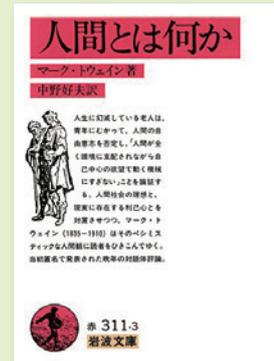
教育・心理学部教員 赤石 憲昭

「人間とは何か」——これは、古来より人類が考え続けてきた究極の問いです。自分自身が何者であるのかを問うこの問いに、全く答えを与えられない様では困ってしまうのですが、これがなかなか難しい。この重要な問いをタイトルに掲げ、難解な哲学書としてでなく、老人と青年の二人の対話篇という形で展開しているのが、マーク・トウェイン『人間とは何か』です。

人生に幻滅した老人は、人間の自由意志を否定し、人間は「全く環境に支配されながら自己中心の欲望で動く自動機械にすぎない」と主張します。これに対して、理想に燃える青年は、人間はそのような利己的な存在ではなく、他人を思いやる存在であると主張します。たとえば、青年は、馬車に乗って家に帰ろうとした際に、ポロポロの服でお金を乞うてきたお婆さんにお金をあげてしまい、自分は雪嵐の中を長時間かけて歩いて帰ったという男の話を持ち上げて老人を説得しようとしています。これに対して老人は、それは決して利他的な行為ではなく、もしお金を渡さなかったら、お婆さんが苦しみ、場合によっては死んでしまうかもしれないとその男は苦悩することになるはずであり、その苦悩から逃れるためにお金を渡したのであって、つまり、自分の心の満足のためにした行為なのだと反論します。

果たして人間は、老人が主張するように利己的な存在なのか、それとも、青年が主張するように利他的な存在であるのか。自分が他人のためと思ってした行為は、果たして本当に他人のための行為なのか、実は自分のためにしている行為ではないのか。他人を支援する行為は、他人のためにしているのか、自分のためにしているのか。みなさんも、人類が悩み続けるこの究極の問いを、本書とともに、自分自身の行為を分析しながらぜひ考えてみてください。併せて、真下信一『君たちは人間だ』（かもしか文庫）や伊藤亜紗編『「利他」とは何か』（集英社新書）も読むとより理解が深まるでしょう。

お勧めする図書



『人間とは何か』
マーク・トウェイン 著
中野好夫 訳
岩波文庫 1973

「知っているようで、知らないこと」

スポーツ科学部教員 吉田 文久

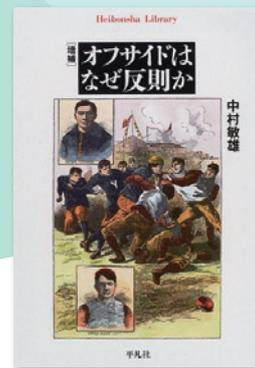
世界で一番人気のあるスポーツは何でしょうか？そう「サッカー」です。国際サッカー連盟（FIFA）に加盟しているのが211か国（国際オリンピック委員会（IOC）に加盟しているのは206か国）もあることから、サッカーが世界中に広がっているスポーツであることがわかります。そのサッカーですが、決して点が多く入るスポーツではありません。「1対0」や「2対1」といった結果や「0対0」の引き分けも多くあります。では、なぜ得点が少ないのでしょうか？それについて教えてくれるのが、中村敏雄著の『オフサイドはなぜ反則か』（三省堂1985、〈増補版〉平凡社、2001）です。

皆さんは、もし「オフサイドはなぜ反則か」と疑問を投げかけられたらどう答えるでしょうか？いや答えられるでしょうか？スポーツ科学部の学生、そしてサッカー経験者の学生の中でも答えられるのは、ごく少数か

と想像します。サッカーをプレーしている（してきた）学生は「オフサイド」というルールがあることは疑問の余地なく当たり前のことだと思っているかもしれませんが、そのルールがあることで、サッカーというスポーツに1点の重みを与え、またあの広いコートの中でプレーする11人のプレーヤーに攻撃と守備の緊張感をもたらすのです。最近のテレビ中継で、こういう状況になると「オフサイド」になるという解説をしてくれるようになりました。しかし、なぜそのルールがあるのかまでは教えてくれません。サッカーに限らず、他のスポーツにもこのようなことが当てはまり、自分が行っている（きた）スポーツに「なぜ」そのルールがあるのか、探してみるのも面白いのではないのでしょうか。

学生の皆さん、当たり前と思っていることに「なぜ」という問いを立て、その疑問を紐解く鍵を書物に求めてください。きっとその答えに近づく楽しさ、そして発見する喜びを味わえるはずです。

お勧めする図書



『オフサイドはなぜ反則か』
中村敏雄 著
三省堂 1985
〈増補版〉平凡社 2001

自身を知ろう - 国際協力の原点として

国際福祉開発学部教員 砂原 美佳

皆さんは「日記」を書きますか？私の場合、数年前から10年日記をつけています。10年日記は1ページに同月同日を10年分記録するものです。書けない日が多くても、過去の自分からプレゼントをもらったような楽しい気分にしてあげることがあります。次の瞬間には忘れてしまいそうな日常の些細や会話や気持ち、それらは意外と未来の自分へのプレゼントになるかもしれません。

さて、今回ご紹介する『ベルツの日記』は、明治初期に「お雇い外国人」の一人として日本にやってきたドイツ人医師エルウィン・フォン・ベルツが日本赴任直前から書き綴った日記です。日本滞在は、明治9年(1876年)から明治38年(1905年)までの29年間。時代は激動の明治期です。ベルツは医師として、日本の皇室、政府高官、軍人、財界人、大学人などと幅広い交流を持っていました。温泉療法を広めた人としても有名です。本書は、西洋思想や科学についての考え方や、日本の近代化や当時の対外関係を知る上でも貴重な資料とされていますが、ベルツが日本社会を見る着眼点や素朴な感想も見どころだと思っています。たとえばベルツは次のように書き残しています。「不思議なことに、今の日本人は自分たちの過去を何も知りたがらない。それどころか、自分たちの過去＝歴史を恥じている。何もかも野蛮でした、我々には歴史なんかありません、これから始まるのです、という者さえいる」「これらの現象は、大変不愉快なものである。日本人が自国固有の文化を軽視すれば、却って外国人の信頼を得ることはできない」。かなり辛辣ですが、時代遅れとみなされて見えかかっていた剣術復活話など、ベルツがいなければ残らなかった文化がいくつもありそうです。

何気ない日常の中に、当たり前すぎて気付いていない「価値」がある。変化の激しい現在だからこそ、改めて考えさせられる一冊です。

お勧めする図書



『ベルツの日記 (上・下)』
エルウィン・ベルツ 著
岩波書店 1979

本は人生の財産です —大学生の今だから本をじっくり読んでみませんか？

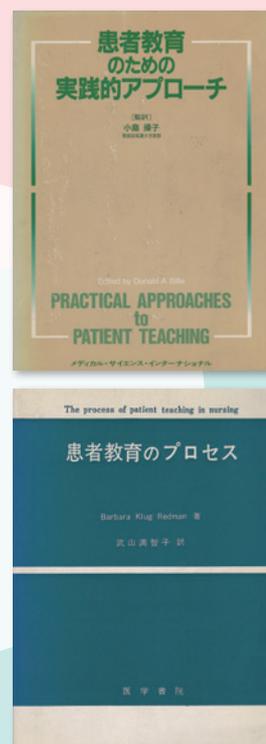
看護学部教員 小笠原 ゆかり

学生の頃に読んだ本は自分の人生や価値に大きく影響します。私自身、看護短大の夏休みの課題で読んだ2冊の本が、自分の看護師としての在り方や看護観に大きく影響しました。その2冊の本は、『患者教育のプロセス』と『患者教育のための実践的アプローチ』です。この2冊は、今でも大切に大学の研究室の書架にそっと置かれています。その本は、自分が大切と思った文章に赤鉛筆で下線が引かれ、所々に鉛筆で思いや考えが書き止めてあり、ぼろぼろになった付箋がたくさん貼り付けてあります。レポートを書くための夏休みの課題の2冊でしたが、「看護ってこういうことなのだ！」と感動し、一生懸命、必死に読んだその時の光景がいまだに脳裏に焼き付いています。その2冊の本は、私の大切な財産です。

感動したある一文を紹介します。“ナースはいかなる分野で働いていようとも、基本的に教師であり、健康を推進するものである”この一文が私に衝撃を与えたのです。この文は、課題の本2冊ともに書かれており、1937年アメリカの看護教育のカリキュラム便覧から引用されたものです。この一文から、その当時のアメリカでの看護では、すでに看護師は教育者としての位置づけが確立していたことが分かります。私自身、1年生の看護学概論の講義で、「看護の対象はあらゆる健康段階にある人」と学んでいたのですが、やはり、入院している人へのお世話といったイメージが強かったと思います。この2冊の本を読むことで、予防的に健康を維持向上することが看護師の役割であることを改めて学び、私自身の看護の根幹になったと思います。本のあるページに貼られた付箋に鉛筆で「看護はPt(患者)をcareするだけでなく教育することも大切」と書いてありました。この本を読んだ当時の私が、看護にとって対象者への教育が本当に大切と実感しているのが伝わってきます。

私のこのような経験から、自分の価値観や人生に影響するような本に皆さんにもぜひ出合っしてほしいと思います。大学生の今、少し難しい本をじっくり読んでみませんか？

お勧めする図書



- 上：『患者教育のための実践的アプローチ』
Donald A. Bill 著
小島操子 監訳
メディカ・サイエンス・インターナショナル 1986
- 下：『患者教育のプロセス』
Barbara Klug Redman 著
武山満智子 訳
医学書院 1991

「学生選書ツアー」を Zoom で初開催!

「学生選書ツアー」とは、学生のみなさんにも読んでほしい本を、参加する学生が実際に本を選ぶことで本学図書館の所蔵となる企画です。今回、館内でのオンライン選書のほか、初めて Zoom を使って選書を行いました！合計9名の学生が参加。約120冊を選書して各館で展示！



美浜本館展示



東海分館展示

参加学生からみなさんへのメッセージ!

社会福祉学部 1年

『勝負の心得』

この本を読むと人間として礼儀といった大切なことを知ることが出来るからだ。この本の著者は元プロ野球選手でありスポーツの事のみを語られていると自分自身思ったがそれ以外に人間性の部分を語られていた。だから人間性を再認識する上でも大事な本だと思うから選んだ。



立浪和義 著
産業編集センター 2020



教育・心理学部 2年

『あの子は優しい。気づいたあなたもきっと優しい。』

もくもくちゃんの絵と文は、温かみがあります。読んでいるこちらの心が癒されて、優しい気持ちになるので、この本を選びました。

もくもくちゃん 著
ワニブックス 2019

「学生選書ツアー」を Zoomで初開催!

社会福祉学部 3年

『日本のヴァイオリン王：鈴木政吉の生涯と幻の名器』

あまり知られていませんが、日本のバイオリン製造メーカーでトップの企業は名古屋の鈴木バイオリン製造です。この本は明治時代に三味線職人からバイオリンの製造の道へ入り、バイオリン後進国だった日本のバイオリンを世界レベルへ引き上げた功労者の物語です。



井上さつき 著
中央公論新社 2014



Writes Publishing 編
ライツ社 2017

看護学部 2年

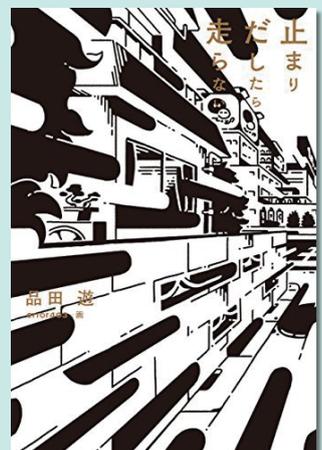
『毎日読みたい 365日の広告コピー』

普段、何気なく素通りしてしまうキャッチコピーだが、実際にじっくり読んでみると奥深いものがたくさんあるからです。1日に一つのキャッチコピーがあるので、毎日一個ずつ読むと楽しいと思います。

経済学部 3年

『止まりだしたら走らない』

この本は東京・中央線の乗客達が登場人物の短編集です。例えば、家から駅までの道を日々タイムアタックし続けるサラリーマンや質問投稿サイトで嘘の回答をし続ける大学院生など「絶対どこかにはいる」人達が登場します。1つ1つの話が短く読みやすいので是非。



品田遊 著
リトルモア 2015



七月隆文 著
幻冬舎 2018

国際福祉開発学部 3年

『ぼくときみの半径にだけ届く魔法』

「ケーキ王子の名推理」から、七月隆文さんの小説がとても好きだからです。また、カメラマンを目指している仁と、難病を抱え外に出られない陽が出会い、1枚の写真をきっかけに距離を縮めていく、というストーリー性に心奪われたからです。



加藤シゲアキ 著
朝日新聞出版 2020

国際福祉開発学部 3年

『できることならステイードで』

読んでいる時にスポーツカーに乗っているようなスピード感を感じます。読み終わったあとに闘志が燃えるような感覚もします、オススメです。

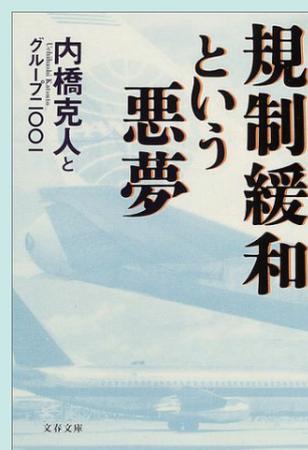


尾沢早飛 著
SBクリエイティブ 2018

国際福祉開発学部 3年

『デザインの基本ノート：仕事で使えるセンスと技術が一冊で身につく本』

アイデアの出し方、デザインの作り方、プレゼンなど、デザインに関する知りたいことを一気に学ぶことができるからです！



内藤克人とグループ 2001 著
文藝春秋 1995

国際福祉開発学部 1年

『規制緩和という悪夢』

つい最近著者である内藤克人さんがテレビで取り上げられていたから。福祉と経済の在り方についての意見が書かれている。

図書館からのお勧め本

図書館から次の2冊を紹介します。ぜひ一読してみてください！
(貸出中の場合は予約ができます。所蔵以外のキャンパス所属の学生は転送予約ができます。)

美浜本館からのお勧め本

『ランニングリテラシー：走って読んで再発見！』

美浜
所蔵

著者名：ランニング学会 編
出版社：大修館書店 2011
資料ID：1104516099
請求記号：782/R16

NIKEのいわゆる「厚底シューズ」が発売されて以降、ランニングフォームもシューズにあわせたものになり、そのフォームを維持するためにトレーニング内容も変わってきた現在、それでも変わらない長距離走トレーニングの基本原則がこの図書には書かれています。長距離走のトレーニングはいわゆるランニングエコノミーの改善にあり、それには3つの原理と6つの原則にかなった方法を取ることが望まれます。理論を抜きにトレーニングをされている方は、一度この図書を読んで基本に忠実なトレーニング方法を模索してみてください。

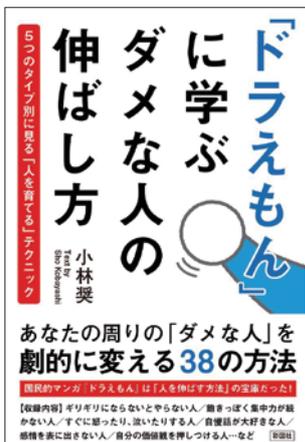


半田分館からのお勧め本

『「ドラえもん」に学ぶダメな人の伸ばし方 5つのタイプ別に見る「人を育てる」テクニック』

半田
所蔵

著者名：小林 奨
出版社：彩図社 2014
資料ID：4100127689
請求記号：140.4/Ko12/



ドラえもんの登場人物のタイプによって「人を育てる」方法を紹介しています。人は相手が失敗すると、悪い面をみてダメな人と決めつけがちですが、良い面を見つけてその人の性格に寄り添い、適切なアドバイスをする相手も納得してくれるのではないのでしょうか。

将来社会人になり、部下を育てる立場になった時に読み返してみると、新たな発見があるかもしれません。

「図書館探検隊」！

前号から始まった連載シリーズ「図書館探検隊」は、付属図書館にある知られざる意外なものを紹介していきます。今回は本学図書館美浜本館の第1電動書架室から見える“不思議な光景”を紹介します。

第1電動書架室に入り、右手に進むと何やら金網に囲まれたスペースが見えてきます。突き当たりを左に進むと右手に大型除湿機の設置が見えますが、そこを右手に進むと右手に古めかしい書籍が積み上げられているのがわかります。これは？と思われるかもしれませんが、これが本学学園創立期（1953年）に法音寺よりご寄贈いただいた主に江戸時代を中心とした資料約4,000冊の全容です。



法音寺からの寄贈資料（約4,000冊）

その一部を貴重資料展示コーナーで展示することがあります。モニター表示と併せて現物をご覧ください。なお、貴重資料展示コーナーでは、時期を変えて本学に所蔵の様々な貴重資料を展示します。



法音寺資料 展示風景

図書館活用法

図書館ホームページの基本

マイライブラリ

借用中の資料や入手待ちの資料などがわかります。



プライマリーリンク

- 利用案内……………図書館利用案内のページヘリンク
 - ・ 図書館サービス（利用区分別）
 - ・ オンデマンド版図書館利用セミナー
 - ・ 各種申込書データダウンロードなど
- 学内外情報検索……学内外で検索できるあらゆる図書館情報源ヘリンク（論文等のデータ入手に役立つ情報ヘリンク）
 - ・ 論文等の検索（図書館データベース・電子ジャーナル）
 - ・ 電子書籍
 - ・ 論文等が検索できる信頼性の高い学内外有用サイトなど
- 日本福祉大学機関リポジトリ
 - ……研究紀要等の本学教員による研究成果を公開
- 貸出ランキング……最近1年間の学部別、館別の図書貸出ランキング
- 各種所蔵情報……所蔵雑誌リスト、電子ジャーナルリスト、受入新聞リスト、貴重書・特別文庫の案内ページヘリンク
- 貴重書デジタル化コレクション
 - ……貴重資料をデジタル化（PDF）・公開ページヘリンク
 - ・ 「草鹿家文庫」、「法音寺資料」
- よくある質問……よくある質問を Q&A で紹介
- 問い合わせ………図書館利用、図書館資料に関する問い合わせフォームや連絡先ページヘリンク

図書を探す (基本)

library.n-fukushi.ac.jp/library/

日本福祉大学付属図書館
NHON FUKUSHI UNIVERSITY LIBRARY

検索: ケースワーク

カテゴリー検索 詳細検索

【必要なお知らせ】

お知らせ

新着資料 最近1ヶ月

詳細検索はここから

まずここから
テーマやキーワード (例: ケースワーク) で検索します

求める図書が…

- ① 本学図書館に所蔵されているか
- ② どの館に所蔵されているか
- ③ すぐに貸出できるのか (貸出中ではないか)
- ④ どの書架にあるのか

など…がわかります

ケースワーク

ソーシャルワークの基盤と専門職, 基
ソーシャルワークノキントセンモンシヨク
徳川貴子編集
新版: みらい, 2021.3
紀伊産業ウェブストアで詳細を見る

図書

他大学への借用依頼

巻号情報
基礎編・専門編
記架済

No.	予約人数	期年	所在	別置	請求記号	貸出区分	資料ID	状況	備考
1	0		美浜開架室		369.16 So63 1*21	一般	1105101966	貸出中 (2022/03/30)	
2			半田2階		369.16 So63 1*21	一般	1105102220	書架にあり	

予約・取り寄せ 登録 文献管理

所仕 別置
美浜開架室(かいかしつ) (なし)

開架室 分類 360~490

- ①: 社会、労働、家族、社会福祉など
- ②: 教育、民俗学、国防など
- ③: 自然科学、医学・医療、看護など
- ④: 統計(和書)
- ⑤: 各県統計
- ⑥: 社会福祉資料

1F

360 → → → 499

出入口

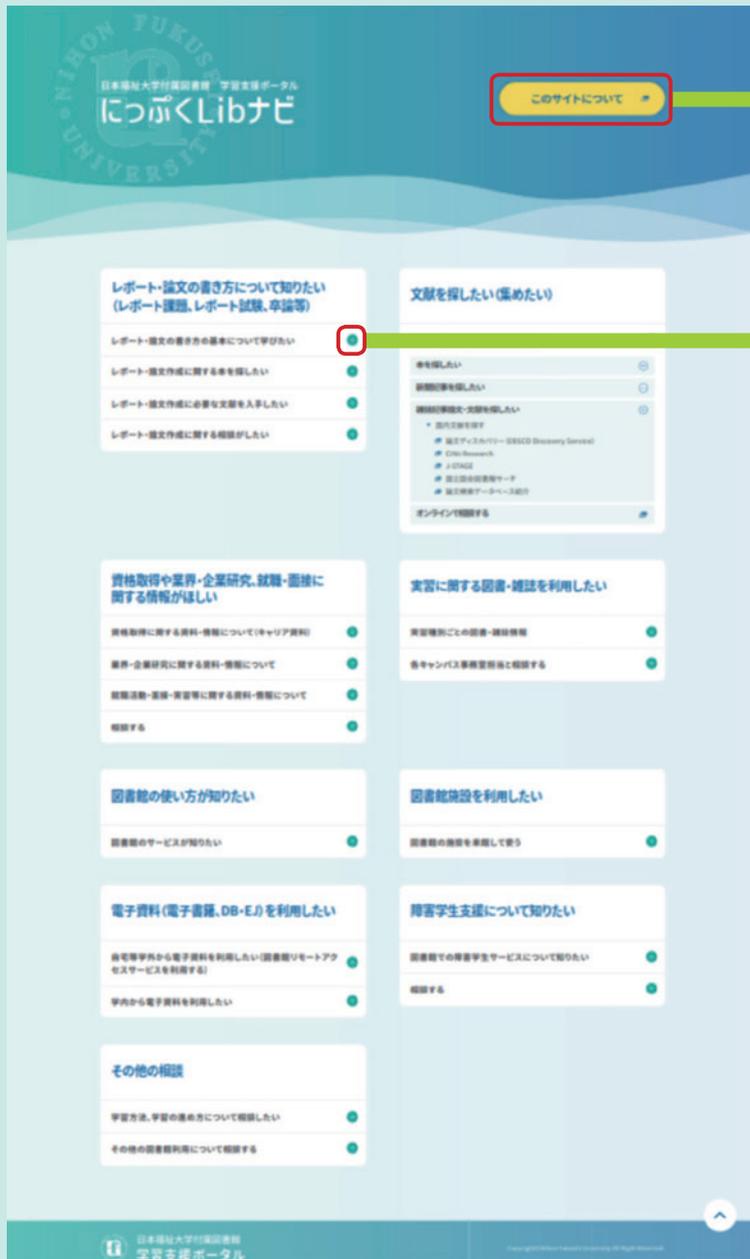
「貸出中」のため、美浜の学生であれば、「予約・取り寄せ」ボタンをクリックして半田分館の本を美浜に取り寄せします。(転送予約)

日本福祉大学付属図書館「にっぽくLibナビ」のご紹介



「日本福祉大学付属図書館 学習支援ポータル」(学内者専用)は学生の皆さんの学習をより効果的に支援する目的で本学図書館が2022年度に初めて公開するものです。今後も学習の便利ツールとして活用できるようブラッシュアップを行っていきます。

ぜひ有効に活用してください！



最初に「このサイトについて」を確認のうえ活用ください。



自宅等学外から利用する場合は予め
図書館リモートアクセスサービス
を利用します。